

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	老人福祉施設土地借上料に係る補助		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
②支出の根拠	関市社会福祉法人の助成に関する条例			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
③支出先	社会福祉法人武芸会 理事長 河内 美文			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	社会福祉法人武芸会			に対して	
	手段	老人福祉施設土地賃借料に係る補助			を行うことで	
	受益者	要介護者			が(を)	
	意図	老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所できる			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 12 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり		負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,114	1,114	1,114	1,114	単価を定めている→算式	
	○		定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況	見直しは、行っていない。					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	1,114 千円	R3歳出決算額	1,114 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		100.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	社会福祉法人の全額持ち出しとなる	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	介護保険制度が始まる前から助成してきたものであり、このまま継続する必要がある。支援団体と地権者との間で結ばれている土地賃借契約の契約更新時において、適正価格か否かを精査する必要がある。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111125
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	低所得者利用者負担額減免措置		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 岐阜県低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業費補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 対象のサービスを提供する社会福祉法人等			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	3/4	負担額	1千円
⑤支出の目的	対象	対象のサービスを提供する社会福祉法人等				に対して
	手段	低所得者利用者負担額軽減制度に係る補助				を行うことで
	受益者	低所得で生計が困難な要介護者				が(を)
	意図	利用者負担額を軽減されることにより、介護サービスを利用しやすくなる				という状態にする
⑥期間	R 3年 4月 1日	～	R 4年 3月 31日	補助・負担開始年度		年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	○ 負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	1/2
		2	3	30	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	実績報告により確認	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	—	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	低所得者の負担が増大する	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112491
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市福祉人材確保補助金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市福祉人材確保等補助金交付要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					市内の介護事業所で新規採用後6か月を経過、または社会福祉士等の資格を取得した者他	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							○(5)個人に対する補助金・負担金
							(6)その他
④国・県の負担	なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		○県の負担あり	負担割合	1/2	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	関市内の介護事業所で新規採用後6か月を経過、または社会福祉士等の資格を取得した者等				に対して	
	手段	補助金の支給				を行うことで	
	受益者	介護従事者				が(を)	
	意図	就労意欲、技能の向上を目指すことにより、関市の介護従事者不足が軽減される				という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	令和 2 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○	その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
		3,170	4,510	5,000	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○	決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握してない	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	経年的検証が必要	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	検証後検討	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	○ 5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	本事業は令和5年度受付分をもって廃止する。人材確保に向けて、補助事業以外の新たなスキームを構築する必要があります。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111400
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市敬老会事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
②支出の根拠	関市敬老会事業補助金交付要綱				
③支出先	敬老会を実施する自治会等団体				
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	76歳以上を対象に、敬老会事業を実施する団体		に対して	
	手段	76歳以上の高齢者を対象に敬老会事業の実施		を行うことで	
	受益者	76歳以上の高齢者		が(を)	
	意図	敬老会を開催することで、人と人との繋がり、地域の繋がりを維持し、高齢者の孤立をなくす		という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 50 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	34,409	2,570	14,678	23,445	○単価を定めている→算式	
			定額補助・負担	その他 ()		
②過去における見直し状況	平成21年度に10%削減。単価3,000円から2,700円へ削減。令和3年度に会を開催:3,000円、記念品配付:1,500円とした。また令和7年度からの対象年齢を75歳以上から80歳以上に引き上げ、経過措置として令和3年度から1歳ずつ引き上げる。					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	実績報告により把握
	支出額・補助・負担率は適正か	対象事業と補助単価の検討が必要
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	高齢者からの不満は大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1現状のまま継続	○	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討		5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	事業対象者を80歳以上の者とした。(5年にわたり、75歳から段階的に年齢を引き上げた。)団体が行う敬老事業に伴う補助金額を敬老会に参加した高齢者1名につき3,000円、団体が実施した敬老事業において受けた益が記念品の受領のみである高齢者1名につき1,500円とした。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112040
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	高齢者いきいき住宅改善助成事業				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市高齢者いきいき住宅改善助成事業実施要綱	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先					介護保険を利用して住宅改修を行う者	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
							○(5)個人に対する補助金・負担金
							(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	介護保険を利用して住宅改修を行う者				に対して	
	手段	床段差の解消や手すりの取り付けなどの住宅改修に対する補助				を行うことで	
	受益者	対象者				が(を)	
	意図	自宅で安全に生活ができる				という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 12 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○	その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	○	補助・負担率を定めている→補助率	6~10割
	1,588	3,127	3,609	3,616		単価を定めている→算式	
	定額補助・負担		その他		()		
②過去における見直し状況	平成15年度改修対象となる住宅の明確化及び対象工事期間の明確化 平成22年度助成対象額を500,000円から250,000円へ 平成29年度介護保険住宅改修制度の上乗せ制度に改正						
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	居宅介護住宅改修(介護保険)	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	完了報告により把握	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	低額所得者への改修負担増	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	申請件数が増えているため、予算額を増やす必要がある。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112040
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	徘徊高齢者探索システム助成事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠			関市徘徊高齢者探索システム助成事業実施要項	(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先			徘徊高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者)	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
					(5)個人に対する補助金・負担金
					(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	徘徊高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者)			に対して
	手段	徘徊高齢者探索システム(GPS等)の購入助成			を行うことで
	受益者	徘徊高齢者探索システムの利用を希望する者(在宅介護者)			が(を)
	意図	徘徊高齢者の居所が確認できるようになり、介護者の精神的、経済的負担を軽減する			という状態にする
⑥期間	R3年4月1日～R4年3月31日		補助・負担開始年度	平成27年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○その他(各個人)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	8	0	0	16	単価を定めている→算式	
						定額補助・負担
②過去における見直し状況	機器等の貸与事業を行っていたが、代替事業として平成27年度から初期費用(上限8,000円)の助成に変更					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円	R3歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	なし	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	○ 4統合を検討	5終期を設定	○ 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和元年度に高齢者等見守りシール交付事業を、令和2年度に市が加入する賠償責任保証制度を開始し、在宅高齢者・介護者の支援の充実を図っている。申請件数が少ないため、見守りシール交付事業の周知を図り、事業の見直し(廃止)を検討する必要がある。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111220
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	老人クラブ助成事業補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)			
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
					(5)個人に対する補助金・負担金			
					(6)その他			
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
		<input checked="" type="radio"/>	県の負担あり	負担割合	2/3	負担額	1,289	千円
⑤支出の目的	対象	単位老人クラブ					に対して	
	手段	地域の見守り、健康増進活動、友愛訪問活動等の一部補助					を行うことで	
	受益者	単位老人クラブに加入する高齢者					が(を)	
	意図	自らの生きがいを高めるとともに高齢者福祉を増進する					という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 50 年度			
⑦事務局体制	<input checked="" type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="radio"/>	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input checked="" type="radio"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1人	あたり 0～約1,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	2,644	2,476	2,308	3,000	単価を定めている→算式	
	<input checked="" type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="radio"/>	その他 ()		
②過去における見直し状況	平成21年度に一律10,000円、補助金を削減。60,000円を50,000円、66,000円を56,000円、72,000円を62,000円に					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	3,902 千円	R3歳出決算額	3,902 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	59.1 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	組織活動が低下する	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4 統合を検討	<input type="radio"/>	5 終期を設定	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	元気な高齢者の活力は、今後の地域づくりのために不可欠であり、そのための老人クラブの存在は大きい。関市老人クラブ連合会に加入しているクラブ数の減少、又は、単位老人クラブへの加入者数も減少しつつあるため、会員の加入促進が必要である。					

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111220
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	老人クラブ助成事業補助金		補助金の分類	○ (1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○ (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				○ (3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				○ (4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				○ (5)個人に対する補助金・負担金		
				○ (6)その他		
②支出の根拠	関市老人クラブ助成事業補助金交付要綱					
	関市老人クラブ連合会					
③支出先	関市老人クラブ連合会					
④国・県の負担	なし	○ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		○ 県の負担あり	負担割合	2/3	負担額	914 千円
⑤支出の目的	対象	関市老人クラブ連合会				に対して
	手段	健康増進、社会奉仕、教養事業の一部補助				を行うことで
	受益者	関市老人クラブ連合会				が(を)
	意図	組織として自立した事業を実施でき、高齢者福祉の増進に繋が				という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	昭和 50 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課	○ 主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	負担なし	○ 負担あり	負担額	1クラブ あたり	14,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,500	1,332	1,371	1,500	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	特に無し					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	5,676 千円	R3歳出決算額	5,184 千円	翌年度繰越額	492 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	24.2 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	○ 適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	○ 把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	○ 適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	○ 達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	○ 向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	○ 組織の維持が、困難となる

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	現在(R4.4.1)の会員が2,929名で、その事業を実施していく上で現在の補助額は最低限必要と考えられる。平成21年度から事務職員も独自に雇用しており、自主運営をしている。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111240
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	高齢者たまり場創造事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
②支出の根拠	関市高齢者居場所づくり事業補助金交付要綱					
③支出先	(公社)関市シルバー人材センター					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	(公社)関市シルバー人材センター				に対して
	手段	高齢者が自由に集い、会話し、趣味を通して交流する居場所づくり事業の一部補助				を行うことで
	受益者	地域の高齢者				が(を)
	意図	住み慣れた地域の中で、健康で生き生きとした生活を送り、孤立化や引きこもりを防ぐ				という状態にする
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日	～	R 4 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 25 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他 ()
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額 利用料 あたり 100 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,200	1,200	1,200	1,200	単価を定めている→算式	
					○	定額補助・負担
②過去における見直し状況	特になし					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	4,167 千円	R3歳出決算額	4,167 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		28.8 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	経過見守り	感染症対策を取りながらの事業実施のため利用者数が伸び悩んだが、PR方法を工夫して知名度のアップを図った
	交付先の事業成果は向上しているか	経過見守り	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	利用者の利便の低下	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	高齢者が住み慣れた地域で、健康で生き生きと住み続けることができるように、自由に集い、交流する居場所を作ることにより、孤立化や引きこもりを防止するための事業。さらなる事業のPRを図り、利用促進を図りたい。また、他の地域への取組も検討したい。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	111800
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	(公社)関市シルバー人材センター事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 高齢者就業機会確保事業費等 補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 (公社)関市シルバー人材センター			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担			なし		
○国の負担あり 負担割合 市と同額 負担額 11270千円						
○県の負担あり 負担割合 負担額 千円						
⑤支出の目的	対象	(公社)関市シルバー人材センター			に対して	
	手段	事業運営補助			を行うことで	
	受益者	60歳以上の高齢者等			が(を)	
	意図	就業機会、能力活用の機会の確保をすることができる			という状態にする	
⑥期間	R 3 年 4 月 1 日 ~ R 4 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 60 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	1会員あたり 2,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	11,270	11,270	11,270	11,270	単価を定めている→算式	
				○定額補助・負担		その他 ()
②過去における見直し状況	平成22年度のみ別で600,000円交付(20周年記念事業開催のため)。 平成28年度⇒平成29年度120,000円増額(ワンコインふれあいサポート事業補助を統合)。					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	221,163千円	R3歳出決算額	223,297千円	翌年度繰越額	-2,134千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合		5.1%		決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	国庫補助金の上限額が市からの補助金の額と同額までとなるため、慎重に検討をしないとイケない。
	支出額・補助・負担率は適正か	要件計	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	今後、元気な高齢者の労働力の活用が求められることから、会員数の増加や就業先の拡大への支援が必要
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	利用者の利便の低下	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	国庫補助金の上限額は市からの補助金の額と同額までとなるため、市の補助金を削減すると、同額の国庫補助金も減額されてしまう。 インボイス制度への対応について、国等の動きを注視する必要がある。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	112060
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	ふれあい・いきいきサロン事業		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
②支出の根拠	決裁による			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
③支出先	(福)関市社会福祉協議会			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	(福)関市社会福祉協議会				に対して
	手段	各地域のサロン活動の一部補助				を行うことで
	受益者	高齢者				が(を)
	意図	高齢者の社会的孤立を防ぎ、住み慣れた地域で生きがいを持って生活できる				という状態にする
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日		補助・負担開始年度	平成13年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○	主に支出先団体		その他()
⑧構成員の負担	負担なし		○	負担あり		負担額 1人あたり 100～500円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	2,600	399	1,043	2,700	単価を定めている→算式			
					○	定額補助・負担	その他()	
②過去における見直し状況	なし							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	1,123千円		R3歳出決算額	1,123千円		翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合			92.9%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生きがいづくりを支援する事業が	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	今後も高齢社会の進展に合わせて継続すべき事業であるが、補助の範囲を見極める必要がある。			

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	1300450
-----	-------	-------	-------	---------	---------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市ロコトレ体操普及のための機器購入補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	関市ロコトレ体操普及のための機器購入助成金要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	ふれあいいきいきサロン・住民主体の通いの場			(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	23.67%	負担額	3千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	12.50%	負担額	2千円
⑤支出の目的	対象	ふれあいいきいきサロン及び住民主体の通いの場				に対して
	手段	関市ロコトレ体操DVDを再生または投影するための機器の購入に要する経費助成				を行うことで
	受益者	参加者(市民)				が(を)
	意図	ロコモティブシンドロームの予防(介護予防)に繋げる				という状態にする
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日		補助・負担開始年度	平成31年度
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課		主に支出先団体		その他	()
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	743	31	13	900	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	<input type="radio"/> その他(上限50,000円)
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	13千円		R3歳出決算額	13千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	100.0%		翌年度繰越額 0千円		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	R2に引き続き、R3においても新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動の機会が減少したことに伴い、申請数が減少したと思われる。地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、サロン活動の再開支援を行うことで本事業の啓発を行う。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	1300450
-----	-------	-------	-------	---------	---------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市住民主体通いの場事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	なし	<input type="radio"/> 国の負担あり	負担割合	23.67%	負担額	135千円
		<input type="radio"/> 県の負担あり	負担割合	12.50%	負担額	71千円
⑤支出の目的	対象	ふれあいいきいきサロン及び住民主体の通いの場				に対して
	手段	講師に対する謝礼または、招へいに係る交通費の助成				を行うことで
	受益者	参加者(市民)				が(を)
	意図	健康寿命の延伸、及び介護予防活動の活性化を図る				という状態にする
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日		補助・負担開始年度	令和3年度
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体		その他()		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり		負担額	1人 あたり0円～22,000円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	0	0	570	1,200	単価を定めている→算式	
					定額補助・負担	<input type="radio"/> その他
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	570千円		R3歳出決算額	570千円	
	R3歳入に占める補助・負担金の割合	100.0%		翌年度繰越額 0千円		
				決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	ある	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4統合を検討	<input type="radio"/> 5終期を設定	<input type="radio"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	R2に引き続き、R3においても新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動の機会が減少したことに伴い、申請数が見込みより少なかったと思われる。地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携し、サロン活動の支援を行うことで本事業の啓発を行う。		

令和3年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	高齢福祉課	室・部・局	健康福祉部	予算事業コード	1300462
-----	-------	-------	-------	---------	---------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市認知症カフェ補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
	②支出の根拠			関市認知症カフェ補助金交付要綱		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先			認知症カフェ実施団体		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
		(5)個人に対する補助金・負担金				
		(6)その他				
④国・県の負担	なし	○国の負担あり	負担割合	38.50%	負担額	77千円
		○県の負担あり	負担割合	19.25%	負担額	39千円
⑤支出の目的	対象	認知症カフェ実施団体				に対して
	手段	認知症カフェを行う経費の一部補助				を行うことで
	受益者	認知症の方やその家族、地域住民				が(を)
	意図	認知症に対する理解を深める、介護負担を軽減する				という状態にする
⑥期間	R3年4月1日～		R4年3月31日		補助・負担開始年度	平成30年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R1決算	R2決算	R3決算	R4予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	326	87	203	900	単価を定めている→算式			
					定額補助・負担	○その他	(上限60,000円)	
②過去における見直し状況	R2年度に補助金を概算払か精算払にするか選べるように改正した。							
③支出先の決算の状況	R3歳入決算額	千円		R3歳出決算額	千円		翌年度繰越額	0千円
	R3歳入に占める補助・負担金の割合			%	○	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響	実施団体の減少	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○	1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
		4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止した団体が多かった。このため、コロナ禍でもできる取り組みの情報交換を実施した。事業の再開、新規実施団体を増やすことが課題となっている。			